

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和6年12月13日

公表: 令和6年12月27日

事業所名 放課後等デイサービスくる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		活動内容に合わせて環境を設定しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		様々な専門職で対応しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		施設内はバリアフリーであり、怪我のないようマットを敷いています。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		個別支援計画を作成し、ケース会議をしています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		アンケート調査実施後に職員会議を行い、改善点を把握し、対応を決めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		第三者による評価を行いたいと思っていますが、具体的な動きには繋がっていません。実施の際には、評価結果を業務改善に活かしていく予定です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		外部研修等に参加しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		保護者様との面談を行い、お考えを伺うようにしています。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		必ず職員間で話し合って活動プログラムを決めるようにしています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		5領域を踏まえて活動を設定しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		1日のスケジュールを立て、利用児童に合わせた支援をしています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		非常勤職員も含め、全職員が業務日報を毎日記入しています。	翌日朝の朝、前日の振り返りをしたり、気付いた点を共有したりして、当日の支援に活かしています。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、日誌の記入を行い、活動内容やお子様の姿を振り返ることができるようにしています。	
---	--	---	--	--	--

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		一覧表を作成し、すべての利用児童についてモニタリングを実施する月の把握をしています。	相談支援事業所と連携を図り、サービス利用計画書も活用しながら判断しています。担当者との意見交換も行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインを理解し、さまざまな視点から活動を考えています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		参画できています。	児童発達支援管理や管理者を中心に参画しています。さまざまな職種との連携を大切に、今後も継続して参画させていただく予定です。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との情報共有は常に行っています。	職員は送迎時に学校の先生と話し、学校や子どもの情報を共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			弊社は児童発達支援事業所を併設しています。他市の発達支援センターとの連携を積極的に行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			経験がないです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機会をいただいた際には積極的に受けています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		児童館にて他児と交流しています。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会子ども部会に参加しています。	専門職として、他機関との連携も強化していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		常に保護者との連携をとっています。	職員と保護者で子どもの状況を伝え合い、把握できるよう努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じて、保護者に子どもとのかかわり方や状況の捉え方等を助言させていただいています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に面談し、説明をしています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時保護者からの相談があれば事業所内で面談を行ったり訪問したりしています。	送迎時の話や連絡帳だけでは伝えきれないことについて、別で時間を確保し、保護者と話すようにしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			状況やニーズ等を精査しながら機会を作っていきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に苦情対応窓口を示し、周知しています。	日頃から職員は保護者の話を聞くよう心掛け、相互理解に努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的到手紙を発行しています。	活動内容や活動のねらい、子どもの姿を保護者に伝えています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いは職員間で注意しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要な子どもには絵カードやスケジュール表などを活用しています。	連絡帳で子どもの様子を伝えたり、手紙に活動中の全体写真を掲載したりしています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今後検討していきます。
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		必要な場合には保護者に臨時の手紙を配布し、周知に努めています。
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練(火災、地震)、防災教育、BCP訓練を定期的に実施しています。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待・身体拘束に関する研修を、非常勤職員も含め、全職員に行っています。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			ホームページ等に身体拘束適正化のための指針を公表しています。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師への意見書等は求めたことはありません。今後必要に応じて求めていきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			年に3回ヒヤリハット委員会で共有しています。また月に1度の職員会議でも報告し合い、組織全体での共有を行っています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和6年12月27日 アンケート実施期間: 令和6年11月8日～令和6年11月29日

事業所名: 放課後等デイサービスくるる 保護者等数(利用児童数)25名 回収数19名 割合76%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	7			不明、よく分かっていない(どちらともいえない)	お子様の発達状況やその日の活動目標に応じて、室内と戸外での活動の両方を取り入れていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5			夏から新しく体制が変わり新しいスタッフも多いので分かりません。(どちらともいえない) 不明、よく分かっていない(どちらともいえない)	保護者様と初対面の場合には、帰りの送迎を担当した職員が自己紹介をさせていただくようにしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	5			不明、よくわかっていない(どちらともいえない)	来所いただいた際に見ていただく機会を作っています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	18	1				保護者様とお子様のお考えをうかがい、アセスメントシート等を使ったり、職員同士での話し合いを重ねたりしながら支援計画を立てています。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	17	1		1		
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	7	4	1	機会の有無を存じていません(どちらともいえない)	お子様の発達状況に合わせて、児童館や公園での活動で他のお子様と一緒に活動できるような、支援していきます。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2		1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1	1	1		帰りの送迎時にお子様の様子をお伝えしたり、連絡帳に記入したりしています。ご心配なことがあれば、お電話でお話をうかがっております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	1	1		事業所内相談の際にお話をうかがい、お子様のことを保護者様と一緒に考えさせていただいています。

⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	7	4	1	保護者同士の横のつながりは特にはないのでは。必要とも思っていない(どちらともいえない)	今後、ニーズがあった際には、保護者様同士の交流や意見交換などの場の提供を考えていきます。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	8		1	苦情があったと聞いたことがない(聞かされていない)ので不明(どちらともいえない)	意見をいただいた場合にはすぐに職員間で話し合い、迅速に対応するようにしていきます。

⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3		1		
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1		1		ホームページには事業理念や自己評価結果などを掲載しています。また、おたよりを発行し、活動予定や取り組みの様子などをお伝えしています。
⑭	個人情報に十分注意しているか	15	3		1		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2		1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1		1	非常食体験などよい活動だと思います。(はい)	火災と地震についてそれぞれ状況を変えながら避難訓練を実施しています。また令和6年11月には非常食を食べる機会も設けました。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	15	3		1	非常に楽しみにしています。(はい)	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	15	3		1	非常に助かっています。いつもありがとうございます(はい)	ご意見などがありましたら連絡帳や電話でいつでもうかがい、対応していきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日:令和 6 年 3 月 21 日

公表:令和 6年3月27日

事業所名 放課後等デイサービスくるく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		様々な専門職で対応しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		床にマットを敷くことや、安全に配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公表しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者による評価は行いたいと考えておりますが、具体的な動きには繋がっていません。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修等に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		製作や運動遊び等を日替わりで取り組んでいます。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個別での支援になることが多いが、意識的に集団遊び等を予定している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日打ち合わせを行っています。	職員間で気をつけないといけない事は情報共有しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		その日にあったことは職員間で共有するようにしている。	職員間で翌日に前日の振り返りをし、当日の業務に反映させています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		日誌の記入と気づきを個人記録に残しています。	業務日報の記入を行っています。職員は個々の連絡ノートを使い、日々あったことを細かく保護者つたえています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		カンファレンスを行い、必要な支援を見直している。	相談支援事業所と細かく連絡を取って、多くの意見を伺っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校との情報共有は常に行っています。	職員は送迎時に学校の先生と話し、学校や子どもの情報を共有しています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		経験がないです。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		児童館にて他児と交流しています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		保護者との連携を図っています。	職員と保護者で子どもの状況は把握できるように努めています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>				

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に面談を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、保護者からの相談があればその場で船団を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は機会を作っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を周知しています。	職員は送迎時に保護者と話をすることを、日頃から心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に手紙を発行しています。	活動全般を保護者に伝えています。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いは職員間で注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードを活用しています	連絡帳、送迎時に連絡をとっています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練は年に四回、防災教育やBCP訓練等も定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修を全職員行なっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			ホームページ等に、身体拘束適正化のための指針を公表しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			年に3回ヒヤリハット委員会で共有を行っています。月に1回の職員会議でも話をしています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和 6年 3月 27日

アンケート期間: 令和 6年1月24日～令和6年2月9日

事業所名 放課後等デイサービスくる2

保護者等数(児童数) 22 回収数 17 割合 77 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	1	2	できればもう少し広い方がいい。	検討いたします。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4			職員がよく入れ替わるため現在の配置がよくわからない。年度初めや変わった時に写真付きなどでくるだよりがあると分かりやすいし、安心する。	異動がわかっているスタッフは文書等でお知らせさせていただきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	4		2		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15	1		1	その時の子どもの成長具合に合わせて必要と見られる対応を都度考えて下さっています。	
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15	1		1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	1	10	特に必要に感じない。	コロナ感染症が5類になったため積極的に活動していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1			帰りの送りの時に一言様子を伝えてくださる先生がいてありがたいと思っています。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1			・親身になって話を聴いてくださるので助かります。 ・定期的にしっかりして下さっています。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	4	7	・特に必要に感じない ・町内で繋がれたりするのでこのような機会があると助かる。 ・やりたいと思っている。	コロナ感染症が5類になったため活動を検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1		3		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15			2		
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	17					
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	2	3		再度マニュアル等を配布いたします。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2		2		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2			とても楽しみにしています。	
	18	事業所の支援に満足しているか	15	2			デイサービスには満足していますが、幸田と岡崎での市の制度が異なる為、同じサービスを受けられないのが残念です。	岡崎市と幸田町の方で差が出ないように、今後も検討いたします。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。